

在校生～保護者～OB 世代間 交流プロジェクト

第25回「三世代をつなぐ駒カフェ」開催の報告

第25回「三世代をつなぐ駒カフェ（在校生対象）」が、2023年7月15日（土）13時から15時まで、第1会議室にて、対面で開催することができた。今回の「駒カフェ」は、1年生7名参加してくれた。参加者は60歳以上年の差のあるスタッフと共通の駒東話をして、在校生にとってもOBスタッフにとっても、楽しいひと時を過ごすことができたようだ。

参加者の感想

- ① おもしろい話が聞けて楽しかった。昔の駒東の話がおもしろかった。駒東のウラ話も……。ありがとうございました！！
- ② 昔の駒東での勉強してた時の悩みや、小さい頃どういう人だったか。今いる先生が昔どういう人だったか。面白かった。
- ③ 駒東の長い歴史を当事者から聞くことで、実感性がわいた。飲み物をおごってもらった。
- ④ 最初（見知らぬ）おじさんたちに話しかけられたときは、ちょっと固まった心だったけどたくさんおじさんたちと話して、駒東の話をするととても楽しかった（ちょっとしかいれなかったけどー）
- ⑤ 初めはどんなものか分からなくて、エサにつられてやって来た感じでしたが、思ったより話がはずんで楽しかったです。



- ⑥ 自分から話題を出さなくても向こうから振ってくれるのがよかった。自分だけでは知ることのない内容を話してくれるのがよかった。
- ⑦ 楽しかった。いろんなことを共有できて、いろいろ考えることができたので、すごくためになった。

OB スタッフの感想

- ① 今回の駒カフェも一年生が複数名来てくれました。みんな同じクラスなのかなと思っていましたが、実際は同じクラス・部活・体育祭の色など、それぞれが所属するコミュニティを越えての仲間だったようです。中学、高校、大学、社会とそれぞれの段階で新しい人間関係を作る（作る必要が出てくる）ことになります。そんな時に別のコミュニティに所属していたり異なった価値観を持っていても、どんなことを考えているのかを知ろうし、お互いを認め合うことはとても大切なように思います。駒東の6年間でも、先輩後輩含めて、いろんな関係性を作ってもらえたらなと思いました。
- ② 1年生2名との会話は楽しいものでした。クラブ活動は、同じ化学部とのことで、60年前の文化祭で大失敗をした秘密を、懐かしく思い出しました（火山噴火の実験で試薬の混合比を変えたら、粘土で作った火山全体が吹っ飛んだ。顧問の山中先生には、ただ壊れましたと報告したように思います）。話題は、でんぷんとヨウド液の実験から、炭素（C）になり、そこから、6本の長さが同じ棒で作る3角形の数学の問題に発展しました。炭素と3角形の関係はいかにかという謎解きには、他の学生も参加していました。中学1年で、周期律表の知識を持っていることに、さすが駒東生と驚嘆しました。次の炭素の謎賭けは「ゲ」で、注目すべきはCとGの間（「ヘチマ」？）の話題でしたが、時間切れで、全参加者が加わった雑談は、謎賭けで終了しました。中学時代にタイムスリップした思いの「駒カフェ」でした。途中で紹介した、中高の時から持っている本の題名は、「数学入門」上下：岩波新書G4、G5（旧363、396）、「ロウソクの化学」：岩波文庫青49（別訳青909-1）です。
- ③ 今回は、脇で話を聞いている立場でした。それだけに今まで以上に俯瞰的に話を聞けたと感じました。中1の生徒達が沢山集まってくれました。高齢スタッフの話聞いても、何一つ物おじせずに対応していたよう

に見えました。ほとんどのケースでは、圧に負けないで成長していくのだろうと感じました。圧に負けた時でも、必ず何かを得て、次のステージに進んでいって欲しいと願っています。

- ④ 日常生活のなかで、新しい話し相手と出会うことはかなり限定されたものになりがちです。駒カフェは、数十年という年齢差を越えて、同じ駒東生という共通性を持ちながら、初めて出会うもの同志が話し合う場であるという点で、たいへん新鮮なたのしみを生み出しているようです。初めての人と話しをするときの敷居は、学年が上がる程、高くなるようです。駒カフェが、今後、こうした敷居を乗り越えて、駒東OBを含めて、学年など多様な駒東生が互いの問題意識などを気軽に交換しあえるような場として浸透していくことを願っています。そのためには、駒カフェとしても様々な新たな工夫にチャレンジしていく必要があります。今回は、コロナに罹り、残念ながら欠席しましたが、中1の駒東生のあふれんばかりの前向きな姿勢に圧倒される思いでした。
- ⑤ この日予約して参加してくれたのは中1一人 呼び込みで来てくれたのは中1六人 クラブ活動の後先で気楽に話してくれました。三組に分かれて駒カフェが行われた。どの生徒も楽し気で屈託ない会話が60歳違いのおじいさんと続いた。「あのねうちのクラスに下ネタばかり言う生徒がいてね・・・」「えっ どんなこと言うの？」我らおじいさんも興味津々 まったく同レベルで楽しんだ。今の中1も昔の中1も本質はそんなに変わっていないんだね！ この駒カフェは生徒のためというより 我ら年寄りの楽しみのため・・・という要素があるのではないかとも思った。中1学年に配布した「駒カフェってなんだ？」のパンフレットの効用はたしかにある。中1生徒は駒カフェを胡乱なものとは思っていない。安心して接してくれる。中1の参加はふえている。ただ他学年への浸透はいまいちだ。上級学年の声を聴きたい。これからの課題だと思う。
- ⑥ 入学してまだ3か月なのに、駒東のことをよく知っていて、好奇心旺盛な皆さんに会うことができました。得意分野の周辺領域や、時には苦手分野にも関心のアンテナをもっていると、経験値が豊かになって、様々なことがつながっていくと思います。今回は、そうした将来の姿を垣間見るような駒カフェでした。

⑦ 中1生が参加してくれました。スタッフOBの誘いにつられて来室した生徒も多い。駒場東邦という共通のキーワードで結ばれた関係に興味と安心を持ってくれたのかもしれない。年の差があっても話の内容は対等、あるいは生徒にスタッフが教えられることもあったようだ。

○ 駒カフェの開催報告をご覧になって、興味を持ち、参加してみようかと思われた方は、下記に記載の運営事務局までご連絡願います。次回以降の駒カフェ開催案内をメールで送らせて頂きます。

○ 本校のホームページで、「駒カフェ」のバナーを  クリックすると、駒カフェの情報を見ることができます。

【2023年度 第2学期の予定】 2023年8月現在

第26回 文化祭に参加します。9/16（土）、9/17（日）・・・第1会議室

第27回（在校生対象）10/7（土）13：00～15：00・・・第1会議室

第28回（在校生対象）11/25（土）13：00～15：00・・・第2会議室

第29回（**保護者対象**）12/9（土）13：00～15：00・・・第2会議室



「三世代をつなぐ駒カフェ」運営事務局

代表 黒岩 誠（駒場東邦7回生/前スクールカウンセラー）

平野 勲（駒場東邦スクールカウンセラー/前校長）

連絡先 komacafe1540001☆gmail.com

☆を@に変えてください。

駒カフェで  お会いしましょう！